

最終更新日:2010年6月24日

## 株式会社インフォメーション・ディベロプメント

代表取締役社長 船越 真樹

問合せ先: 社長室長 山内 佳代 TEL:03-3262-5177

証券コード: 4709

http://www.idnet.co.jp

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

## I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

### 1. 基本的な考え方

当社では、「継続的に企業価値を高める」ことを経営における最重要項目と位置づけ、(1)経営の透明性と健全性の確保、(2)スピーディーな意思決定と事業遂行の実現、(3)アカウンタビリティ(説明責任)の明確化および(4)迅速かつ適切で公平な情報開示を基本方針として、コーポレート・ガバナンスの強化および監視機能の充実に取り組んでおります。

### 2. 資本構成

|           |            |
|-----------|------------|
| 外国人株式保有比率 | 10%以上20%未満 |
|-----------|------------|

### 【大株主の状況】更新

| 氏名または名称                              | 所有株式数(株) | 割合(%) |
|--------------------------------------|----------|-------|
| 有限会社エイ・ケイ                            | 701,729  | 8.73  |
| 株式会社みずほトラストシステムズ                     | 682,549  | 8.50  |
| タイヨー パール ファンド エルピー                   | 646,900  | 8.05  |
| ID 従業員持株会                            | 574,817  | 7.15  |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505104 | 431,900  | 5.37  |
| みずほ信託銀行株式会社                          | 281,900  | 3.51  |
| 株式会社ケイ・シー・エス                         | 277,574  | 3.45  |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)              | 232,800  | 2.89  |
| 竹田和平                                 | 210,000  | 2.61  |
| 船越朱美                                 | 132,085  | 1.64  |

### 3. 企業属性

|             |             |
|-------------|-------------|
| 上場取引所及び市場区分 | ジャスダック 既存市場 |
|-------------|-------------|

|     |    |
|-----|----|
| 決算期 | 3月 |
|-----|----|

|    |        |
|----|--------|
| 業種 | 情報・通信業 |
|----|--------|

|          |         |
|----------|---------|
| (連結)従業員数 | 1000人以上 |
|----------|---------|

|         |                 |
|---------|-----------------|
| (連結)売上高 | 100億円以上1000億円未満 |
|---------|-----------------|

|     |    |
|-----|----|
| 親会社 | なし |
|-----|----|

|        |       |
|--------|-------|
| 連結子会社数 | 10社未満 |
|--------|-------|

### 4. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

特記すべき事項はありません。

## II 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

### 1. 機関構成・組織運営等に係る事項

|      |         |
|------|---------|
| 組織形態 | 監査役設置会社 |
|------|---------|

#### 【取締役関係】

|            |        |
|------------|--------|
| 取締役会の議長    | 社長     |
| 取締役の人数     | 5名     |
| 社外取締役の選任状況 | 選任している |
| 社外取締役の人数   | 1名     |

#### 会社との関係(1)

| 氏名    | 属性  | 会社との関係(※1) |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|-----|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
|       |     | a          | b | c | d | e | f | g | h | i |
| 三木 昌樹 | 弁護士 |            |   |   |   |   |   |   |   | ○ |

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である
- b 他の関係会社出身である
- c 当該会社の大株主である
- d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している
- e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である
- f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずる者である
- g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている
- h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している
- i その他

#### 会社との関係(2)

| 氏名    | 適合項目に関する補足説明  | 当該社外取締役を選任している理由  |
|-------|---------------|---|
| 三木 昌樹 | ・弁護士<br>・独立役員 | 直接会社経営に関与された経験はありませんが、弁護士としての専門的な知識・経験等を当社の経営に活かしていただけるものと判断して、選任をしております。<br>なお、一般株主と利益相反の生じるおそれがないと判断し、平成22年3月9日開催の取締役会において、独立役員に指定しております。 |

#### その他社外取締役の主な活動に関する事項 更新

三木昌樹氏は、平成22年3月期に開催された取締役会16回全てに出席し、主に弁護士として専門的な見地から意見や助言を行っております。

#### 【監査役関係】

|            |        |
|------------|--------|
| 監査役会の設置の有無 | 設置している |
| 監査役の数      | 4名     |

#### 監査役と会計監査人の連携状況

監査役と会計監査人は監査計画の調整を行い、監査役は会計監査人から監査結果の報告を受けるだけでなく、期中においても必要な情報交換、意見交換を行っております。

#### 監査役と内部監査部門の連携状況

監査役は、経営監査室から監査計画、方法、範囲について説明を受けるとともに、常勤監査役は経営監査室と連携して内部監査を実施し、必要な情報交換、意見交換を行っております。

|            |        |
|------------|--------|
| 社外監査役の選任状況 | 選任している |
|------------|--------|

社外監査役の人数

3名

会社との関係(1) 更新

| 氏名    | 属性       | 会社との関係(1) |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|----------|-----------|---|---|---|---|---|---|---|---|
|       |          | a         | b | c | d | e | f | g | h | i |
| 松本 栄一 | 他の会社の出身者 |           |   |   |   |   |   |   | ○ |   |
| 岡崎 正憲 | 公認会計士    |           |   |   | ○ |   |   |   | ○ |   |
| 丸森 英助 | 他の会社の出身者 |           |   |   |   | ○ |   |   | ○ |   |

※1 会社との関係についての選択項目

- a 親会社出身である  
b その他の関係会社出身である  
c 当該会社の株主である  
d 他の会社の社外取締役又は社外監査役を兼任している  
e 他の会社の業務執行取締役、執行役等である  
f 当該会社又は当該会社の特定関係事業者の業務執行取締役、執行役等の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずるものである  
g 当該会社の親会社又は当該親会社の子会社から役員としての報酬等その他の財産上の利益を受けている  
h 本人と当該会社との間で責任限定契約を締結している  
i その他

会社との関係(2) 更新

| 氏名    | 適合項目に関する補足説明           | 当該社外監査役を選任している理由   |
|-------|------------------------|--|
| 松本 栄一 | ・JSR株式会社 特別顧問<br>・独立役員 | 長年にわたり企業の経営に携わり、その経歴を通じて培った経営の専門家としての見識に基づく経営全般の監視をお願いするとともに、過去の経験を活かした当社への有効な助言を期待し選任しております。<br>なお、一般株主と利益相反の生じるおそれがないと判断し、平成22年3月9日開催の取締役会において、独立役員に指定しております。        |
| 岡崎 正憲 | ・公認会計士<br>・独立役員        | 直接会社経営に関与された経験はありませんが、公認会計士として多数の企業の経営全般にわたる指導に従事しております。これまでの経験を活かした当社への有効な助言をいただけるものと判断して、選任しております。<br>なお、一般株主と利益相反の生じるおそれがないと判断し、平成22年3月9日開催の取締役会において、独立役員に指定しております。 |
| 丸森 英助 | ・みずほ代行ビジネス株式会社 取締役社長   | 長年にわたり企業の経営に携わり、その経歴を通じて培った経営の専門家としての見識に基づく経営全般の監視をお願いするとともに、過去の経験を活かした当社への有効な助言を期待し選任しております。  |

その他社外監査役の主な活動に関する事項 更新

松本栄一氏は、平成22年3月期に開催された取締役会16回のうち15回に出席および監査役会14回全てに出席し、主に会社経営に関する豊富な経験と識見に基づく見地から意見や助言を行っております。  
岡崎正憲氏は、平成22年3月期に開催された取締役会16回のうち15回に出席および監査役会14回のうち13回に出席し、主に公認会計士としての専門的見地から意見や助言を行っております。  
丸森英助氏は平成22年3月期第42期定時株主総会において監査役に選任されました。

## 【インセンティブ関係】

取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況

ストックオプション制度の導入

該当項目に関する補足説明

ストックオプションについては、職務遂行並びに業績向上への士気を高めることを目的として、過去3回発行しました。その内、2回までの発行分につきましては権利行使期間が満了し、既に消滅しております。

ストックオプションの付与対象者

社内取締役、従業員

該当項目に関する補足説明

会社経営に関与度の高い上級役員、取締役及び部長職以上の従業員としています。

## 【取締役報酬関係】

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 開示手段 | 有価証券報告書、営業報告書(事業報告)     |
| 開示状況 | 社内取締役及び社外取締役の別に各々の総額を開示 |

該当項目に関する補足説明 **更新**

平成22年3月期の取締役および監査役に支払った報酬は次の通りです。  
 取締役5名に対し128百万円(うち社外取締役1名に対し5百万円)  
 監査役5名に対し15百万円(うち社外監査役3名に対し7百万円)  
 ※当事業年度末現在の監査役は4名(うち社外監査役は3名)であります。上記の監査役の員数と相違しておりますのは平成21年6月24日開催の第41期定時株主総会終結の時をもって退任した監査役が1名含まれているためであります。

### 【社外取締役(社外監査役)のサポート体制】

必要に応じ、総務部にてサポートをしております。社外監査役へは、毎月開催される監査役会にて監査役(常勤)より補完的な説明を実施しております。

## 2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項 **更新**

- 当社は、当社の企業規模や事業内容に鑑み、社外監査役を含めた監査役による監査体制が経営監視機能として有効であると判断し、監査役設置会社の形態を採用しております。
- 経営の重要事項に関する意思決定機関および監督機関として取締役会を毎月1回の定例取締役会および必要に応じて臨時取締役会を開催し、的確かつ迅速に経営上の重要事項を審議・決議いたしております。また、意思決定・監督と執行の分離による取締役会の活性化のため、執行役員制度を導入しております。  
 また、社外取締役の三木氏は、弁護士としての専門的な知識・経験等を持っており、独立役員にも指定している同氏の登用により、当社の経営に対する監督機能の実効性向上を図っております。
- 当社は監査役会設置会社であり、監査役会は常勤監査役1名と、独立役員の社外監査役2名を含む3名の社外監査役を合わせた4名の監査役で構成されております。監査役は、重要な意思決定の過程を把握するため、取締役会などの重要な会議に出席し、業務執行状況を確認するほか、それぞれの専門的立場から経営と財産の状況について監査を行い、経営監視機能の強化をはかっております。また、監査業務の充実を図るため、社長直轄の経営監査室は現在5名体制で監査を行っております。
- 経営上の重要課題に関する事項について協議する協議機関として、経営会議を原則として毎月2回、必要に応じて臨時に開催しております。

### III 株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

#### 1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況 更新

|                 | 補足説明   |
|-----------------|--|
| 株主総会招集通知の早期発送   | 招集ご通知につきまして、第42期定時株主総会(平成22年3月期)は法定期日より4日早く発送しております。株主の皆様への検討時間を確保すべく、引き続き早期発送の努力をしております。  |
| 集中日を回避した株主総会の設定 | 第41期定時株主総会:平成21年6月24日<br>第42期定時株主総会:平成22年6月23日   |
| 電磁的方法による議決権の行使  | 当社としても株主総会のIT化に積極的に取り組んで参りたいと考えておりますが、現在の株主数や議決権行使を電子化した場合のコスト等を総合的に勘案し、当面実施を見合わせることに判断いたしました。株主総会のIT化につきましては、今後の状況を引き続き注視したいと考えております。 |
| その他             | 当社ホームページに招集通知、決議通知、臨時報告書(株主総会の議決権行使結果)を掲載しております。   |

#### 2. IRに関する活動状況

|                         | 補足説明   | 代表者自身による説明の有無 |
|-------------------------|--|---------------|
| 個人投資家向けに定期的説明会を開催       | 年4~6回、定期的に個人投資家向けの説明会を開催し、毎回アンケートによる投資家からのフィードバックを受けております。業界や当社事業及び戦略に対する投資家の認識を把握することで経営はもとより、IR活動改善の参考にしております。                             | あり            |
| アナリスト・機関投資家向けに定期的説明会を開催 | 決算説明会のほか、アナリスト協会主催の説明会を開催し、また決算説明会直後には国内ロードショーを開催するなど、定期的に機関投資家訪問を行っております。経営分析のプロであるアナリスト、機関投資家と定期的にコンタクトを持つことで、より徹底した説明責任や経営の透明性実現に努めております。 | あり            |
| 海外投資家向けに定期的説明会を開催       | 国内投資家との情報格差を埋めるべく、年2回海外機関投資家への定期訪問を実施しております。より高いレベルで経営の効率性や透明性を求める海外投資家と定期的にコンタクトを持つことで、当社のコーポレート・ガバナンス充実の参考にしております。                         | あり            |
| IR資料のホームページ掲載           | 自主的開示資料としては、説明会資料、ファクトブック、IDレターを掲載しております。主力の「アウトソーシング事業」は人材が重要な経営資源であることから、その事業特徴をわかりやすく説明したコンテンツ掲載に努めております。                                 | あり            |
| IRに関する部署(担当者)の設置        | 社長直轄の「社長室」がIR担当窓口となっております。   |               |
| その他                     | IR説明会などでの会社説明はすべて社長自ら行っております。  |               |

#### 3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況 更新

|                           | 補足説明   |
|---------------------------|--|
| 環境保全活動、CSR活動等の実施          | (1)ISO14001の認証取得済み(2)CSRアンケートの実施と調査分析(3)「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励(4)ゼロエミッションへの取り組み(5)eco知識取得のため、eco検定資格取得奨励(6)地域清掃の実施(月2回)(7)通学路交通指導員(春、秋)(8)チャレンジ25キャンペーンへの参加(9)全日本小学生ホームページ大賞(J-KIDS)支援(10)文化・芸術活動支援(11)奨学金制度創設(中国湖北省武漢市の华中科技大学)日本語寄付講座(中国湖北省武漢市の湖北経済学院)(12)次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主認定取得 |
| ステークホルダーに対する情報提供に係る方針等の策定 | 株主を重視した経営とその透明性を高めるため、積極的にディスクロージャーを行っております。タイムリーな情報開示を行うとともに、アナリスト向け決算説明会(年2~3回)、個人投資家説明会(年4~6回)及び海外投資家説明会を継続的に実施しております。  |
|                           | 社内を受付窓口とすることに客観的な支障がある場合や心理的にこれを躊躇する場合のた   |







